

INFORMATION

No. 0903-08

新規受託のお知らせ

お得意様各位
謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	検査方法	基準値	所要日数	実施料	判断料区分
2995	TARC	A	血清 0.5ml	EIA	下表参照	5~18	200点	免疫
2996	TRACP-5b	A	血清 0.5ml	EIA	下表参照	3~9	160点	生化

基準値	検査項目	単位	6~12ヶ月	1~2歳	2歳以上	成人
	TARC	pg/ml	1367未満	998未満	743未満	450未満
	検査項目	単位	男性	閉経前女性	女性(30~44歳)	閉経後女性
	TRACP-5b	mU/dl	170~590	120~440	120~420	250~760

受託開始期日

平成21年 4月 1日(火)受付分より

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

..... 新規受託項目に

TARC (thymus and activation-regulated chemokine)

TARCは、白血球に対して走化性などを示すケモカインのひとつで、アトピー性皮膚炎では、病変部の表皮角化細胞により産生されたTARCがリンパ球 (CCR4を発現するTh2細胞)を局所に遊走させ、Th2優位の免疫応答により、IgE産生や好酸球の浸潤・活性化が惹起されてアレルギー症状が出現すると考えられています。

アトピー性皮膚炎の治療においては、重傷度に応じて外用ステロイド剤の薬効等を慎重に選択する必要がありますので、その重要度を正確に把握することが不可欠です。血清中TARC量は、これまでの検査に比べて、アトピー性皮膚炎の重症化に伴い比較的大きな変化を伴う上昇を示し、病態を反映する検査であることからアトピー性皮膚炎と診断された患者の治療薬の選択・変更を検討する際の重傷度評価において、主体となる皮膚症状の評価に加え重傷度評価の補助として有用であると考えられます。

TRACP- 5b(Tartrate- resistant Acid Phosphatase 5b)

酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ5bは、骨の代謝(骨吸収)に直接関係し、骨吸収によってできる骨の分解産物とともに血中に放出されるため、骨吸収の亢進に伴い血中のTRACP- 5bも増加します。

ヒトでは、骨(破骨細胞)のみに由来するため、骨吸収の状態を正確に反映と言われてます。なお、血中には、マクロファージなどに由来する酸性フォスファターゼ(TRACP- 5a)も存在しますが、破骨細胞に由来するTRACP- 5bだけを測定します。

従来の骨吸収マーカーとの比較

生物学的変動は小さく、骨代謝の小さな変化を鋭敏に捉えることができると考えられる。

血中TRACP- 5bの日内変動は小さいため、検体採取のタイミングに関する制限が少ない。

血中TRACP- 5bは食事の有無により影響を受けないことから、空腹状態で採血する必要がない。

血中TRACP- 5bは、従来のコラーゲン代謝物の骨吸収マーカーのように、腎機能低下の影響は認められないため、腎機能低下症例や透析症例においても有用と思われる。

(保険適用の内容)

ア、「TRACP- 5b定量」は、区分番号「D008」内分泌学的検査の「12」のNTx精密測定に準じて算定する。

イ、「TRACP- 5b定量」は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に6月以内に1回限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。

本検査を「12」型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)精密測定、「13」のオステオカルシン精密測定、「16」の尿中デオキシピリジノリン精密測定と併せて実施した場合いずれか一つのみ算定する。

なお、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、区分番号「B001」特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。